

狂言を楽

野村万蔵による芸能サロン



し
も
ら

■日時
2020年1月11日(土)
14:00開演(13:30開場)

■会場
川崎能楽堂
(JR川崎駅東口徒歩5分)

■料金
3,000円(全席指定)

■チケット発売

2019年11月29日(金) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて販売

*残券がある場合は、同日正午より電話・川崎市文化財団ホームページでも販売いたします。

■チケット取扱・お問合せ

川崎能楽堂 TEL044-222-7995

川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00(水曜定休日)

*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20200111/>

■主催(公財)川崎市文化財団

川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5F TEL 044-272-7366/FAX 044-544-9647

*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

■狂言のお話

野村万蔵

■狂言

かま ぼら
「鎌 腹」小笠原匡

■狂言

たから つち
「宝の槌」野村万蔵

先着順





野村万蔵による芸能サロン

狂言を楽しもう

「鎌腹」

日頃から怠け者の夫の太郎を、今日という今日は許さないと、妻が鎌を括りつけた棒をふりかざし追い回しています。仲裁人のとりなしで山に仕事へ行くことになった太郎ですが、妻に侮辱され短気を起こし、鎌で自分の腹を切ろうとします。妻は仲裁人を連れて帰ってしまい一人になった太郎は…。

「宝の槌」

果報者の主がお宝比べのため、都へ宝物を買ってこいと太郎冠者に命じました。都に着いた太郎冠者は、宝屋の亭主と名乗るすつばから蓬菜の鬼が持つていた宝の槌を買います。望むものを打ち出せる槌だと聞き、早速主人の前で呪文を唱え馬を出そうとしますが…。
※蓬菜…神仙が住むと言われていた島。

狂言「宝の槌」

主 太郎冠者
すつば 野村万蔵
能村晶人
野村万之丞

休憩

狂言「鎌腹」

妻 太郎
仲裁人 小笠原匡
河野佑紀
小笠原弘晃

野村万蔵

小笠原匡

野村万蔵

出演者略歴



野村 万蔵 【のむら まんぞう】

1965年生まれ。野村萬(人間国宝)の次男。父に師事。2005年、九世野村万蔵を襲名する。一門の組織萬狂言を主宰。古典はもとより、狂言と現代の笑いを融合させた中原清隆氏との舞台の演出や、歴史学者磯田道史氏との新作狂言の創作、また流派を越えた若手研鑽と交流を目的とした「立合狂言会」を立ち上げるなど、狂言の普及と発展に尽力する。さらには俳優として映画やドラマ(NHK大河ドラマ「西郷どん」)への出演など幅広く活動。重要無形文化財総合指定。



小笠原 匡 【おがさわら ただし】

1965年生まれ。野村萬及び故八世万蔵、九世万蔵に師事。国立能楽堂三役研修生を修了。萬狂言関西支部代表。海外での活動も多く、新作狂言の劇作や演出も積極的に行なう。2007年より毎年、千葉大学「伝統文化をつくる」授業にて学生や地域と連携し創作狂言を制作している。放送大学京都学習センター客員教授。千葉大学客員教授。重要無形文化財総合指定。



能村 晶人 【のむら あきひと】

1972年生まれ。能村祐丞の長男。野村萬及び故八世万蔵、九世万蔵に師事。既に数多くの秘曲・大曲を披く。海外公演にも多数参加。桜美林大学・尚美学園大学非常勤講師。重要無形文化財総合指定。



野村 万之丞 【のむら まんのじょう】

1996年生まれ。九世万蔵の長男。祖父の萬及び父に師事。2017年、六世野村万之丞を襲名。3歳の時「靱猿」にて初舞台。2015年「奈須与市語」、2017年「三番叟」を披く。海外公演にも積極的に参加。狂言以外にもNHK大河ドラマ「西郷どん」への出演や、ピアノ弾き語りコンサートに朗読で出演するなど、活動の場を広げている。能楽協会会員。



河野 佑紀 【かわの ゆうき】

1990年生まれ。九世万蔵に師事。2016年「奈須与市語」を披く。東京を中心に多くの舞台を勤めるほか、小中高生向けのワークショップや鑑賞教室を積極的に行なう。能楽協会会員。



小笠原 弘晃 【おがさわら ひろあき】

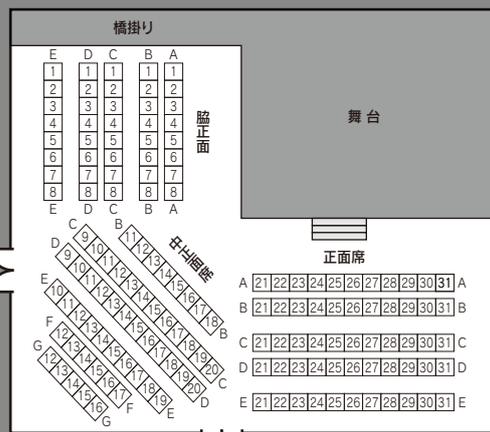
2001年生まれ。小笠原匡の長男。野村萬及び九世万蔵、父に師事。3歳の時「靱猿」にて初舞台。2017年「奈須与市語」を披く。2012年東映映画「北のカナリアたち」に出演。現在パリに留学中。

次回公演のお知らせ

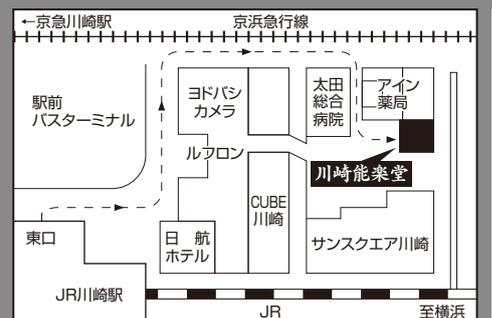
2020年3月14日(土)
第119回川崎市定期能
～観世流～

第1部 能「弱法師」観世 恭秀
狂言「佐渡狐」三宅 右矩
第2部 能「二人静」田邊 哲久
狂言「長光」三宅 右矩

2020年5月3日(日・祝)14:00開演
人間国宝の競演
～友枝昭世と山本東次郎の至芸～
会場 川崎市麻生市民館大ホール
狂言「花盗人」山本東次郎
能「清経」友枝 昭世
解説 馬場あき子



川崎能楽堂座席表(148席)



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995



川崎能楽堂案内図